

## 台風情報（8月19日 9時現在）

今年の台風は、発生が7月9日と観測史上2番目の遅さになっていましたが、8月に入り、台風が連続して発生しています。7月に4個、8月に4個発生し、8月19日現在では8個になっています。

今後も台風の発生が続くことが予想されています。8号は中国華南に向かうため影響はないのですが、予想天気図では日本の南海上にある2つの熱帯低気圧の1つが今後台風になり、日本、特に西日本に影響が出てくる可能性が出てきましたので、解説します。

### 1 台風発生の要因

台風は、南太平洋の海域で熱帯収束帯が形成され時に発生しやすいと言われ、最近ではUCL（上層寒冷低気圧）も重要な役割を果たすとのこと。

現在、その収束帯が南太平洋上に東西に形成されており、台風の連続発生に繋がっています。

### 2 台風接近の可能性

今後予想される台風は、当初7号と同じコースを辿ると予想されていましたが、現在上空の気圧配置が変化してきているため、その影響を受ける可能性があります。

今後の台風予想進路では、気象庁の数値予報モデル、ヨーロッパ中期予報センター、米軍台風情報センター、GPVの全てで22日から24日にかけて、九州付近に台風が接近する予想になっています。

しかし、まだ不確定な要素が多くあるため、進路については、今後変わってくる可能性があります。最新の情報を入手するようにしてください。

### 3 気圧の変化について

7月の梅雨明け以降、太平洋高気圧（サブハイ）の勢力が、日本付近の北側で寒気の影響を受けて、東西に分断され、東側のサブハイが日本からかなり離れています。一方西側のサブハイは、中国大陸から東シナ海、西日本を覆う形になり、西日本は酷暑という状態でした。

しかし、気象庁の予想モデルでは、今後、東のサブハイが次第に強まり、東と北側から日本を覆い、気圧の谷が西日本へと移動する形に変わってきます。

そのため、予想される台風は7号と同じようなコースを取ることができずに進路を西向きに取り、九州付近に向かう予想になってきています。

### 4 注意点

この台風は、8月22日から24日かけて、九州の東から接近してくる予想になっていますが、夏台風は変則的な動きをすることが多く、まだどの進路を取ってくるのかは分からない状態です。今後、気象庁の台風情報を的確に入手して、進路次第では、必要な対策を早めに行っていくことが重要です（来週22日には最新情報を提供する予定です）。

農作業スケジュールの上では、大変重要な時期を迎えています。恵みの雨で終わることを期待しています。